

T R Y ! N E X T J O U R N E Y



2022年6月期決算・中期経営計画説明資料

2022年8月

株式会社グリーンス
(東証スタンダード : 6547)

目次

1. 2022年6月期 決算概要	… P. 3
2. 中期経営計画「GREENS JOURNEY 2025」	
(1) 長期ビジョンと本計画の位置づけ	… P.14
(2) 中期経営計画の基本方針	… P.20
(3) 重点戦略と具体的な取り組み	… P.27
Appendix	… P.36

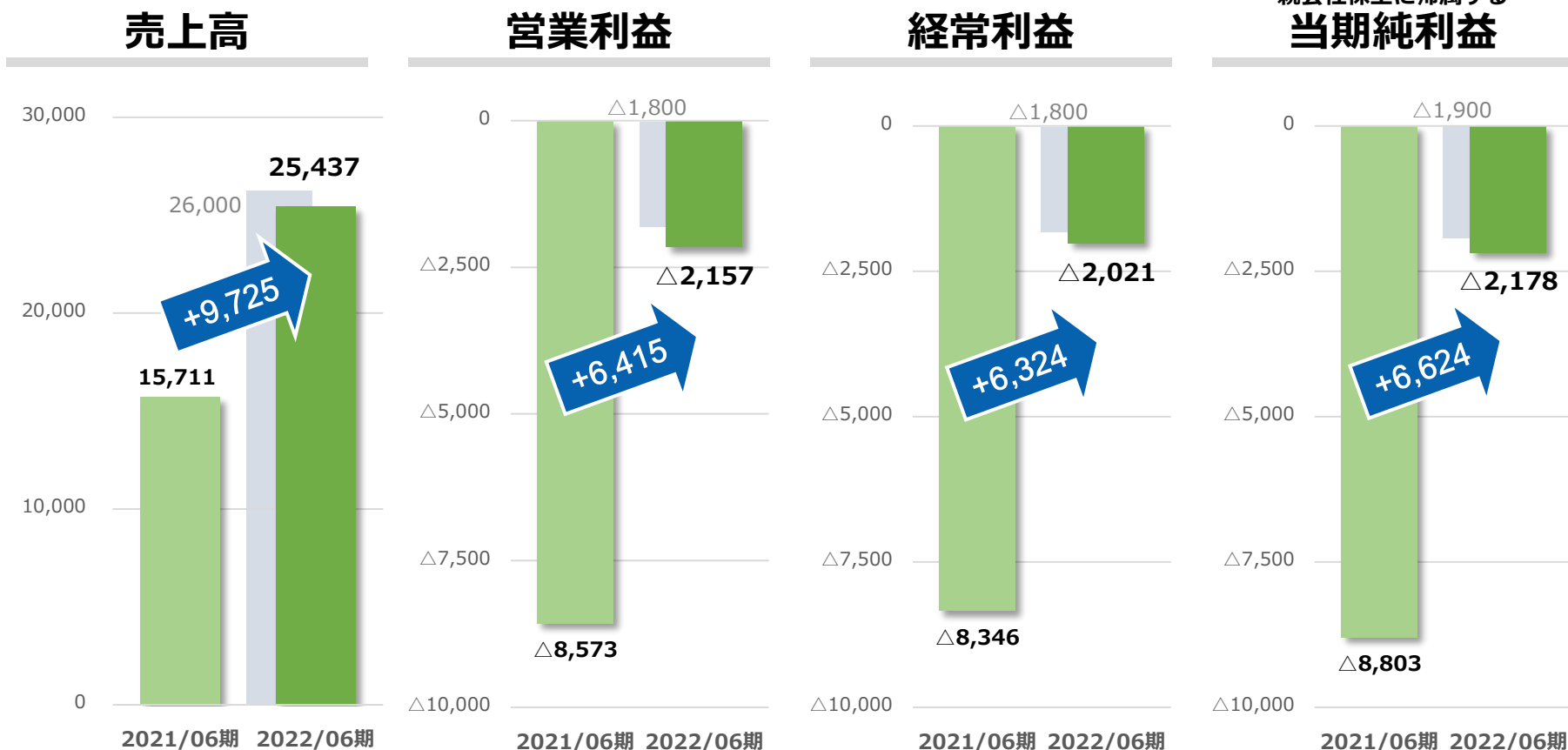
1. 2022年6月期 決算概要

決算ハイライト ①決算概要

- 着実な需要回復をベースに、各店舗にて感染拡大状況に合わせた運営を行った結果、赤字幅は大きく縮小
- 感染拡大第6波の影響等により顧客単価の回復が緩やかとなり、利益は計画未達

(単位：百万円)

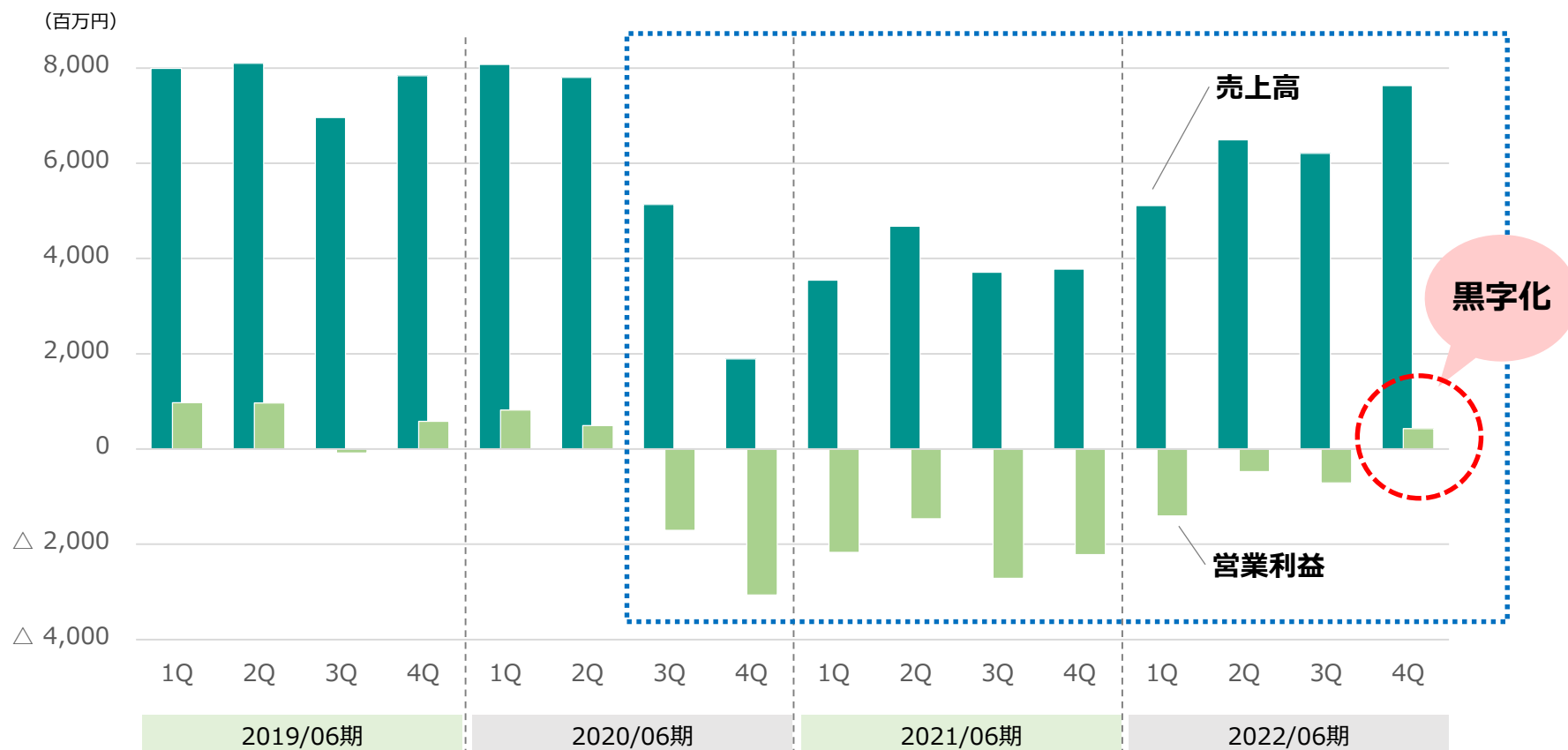
親会社株主に帰属する
当期純利益



* は会社予想 (2022年2月14日公表)

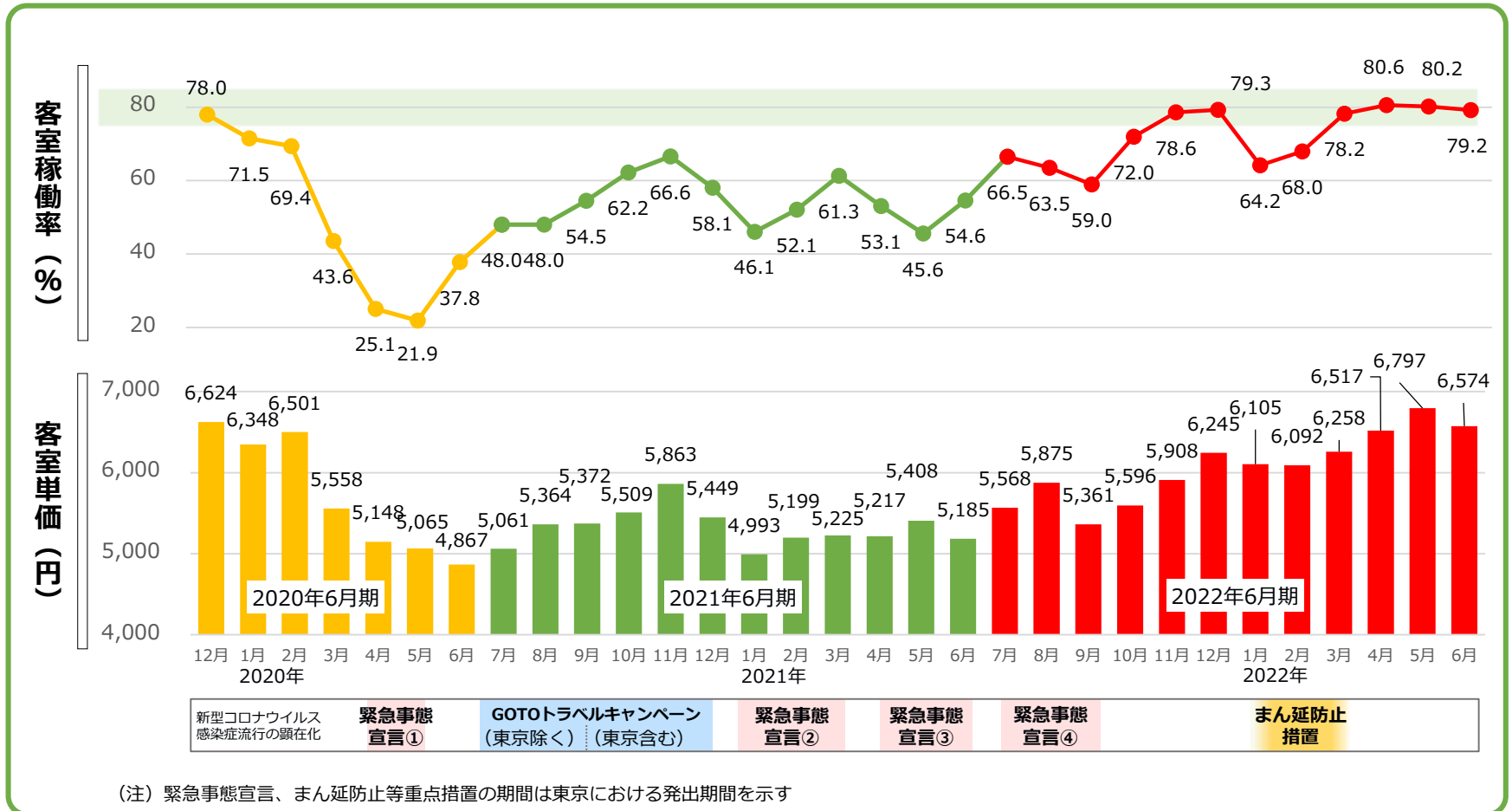
決算ハイライト ②四半期業績の推移

- 売上高は、新型コロナウイルス感染症流行以前のレベルに向け、着実に回復
- 2022年6月期第4四半期会計期間（四半期単体）において、新型コロナウイルス感染症の流行拡大以降初めての四半期営業黒字を達成



コロナ禍における客室稼働率及び客室単価の月次推移

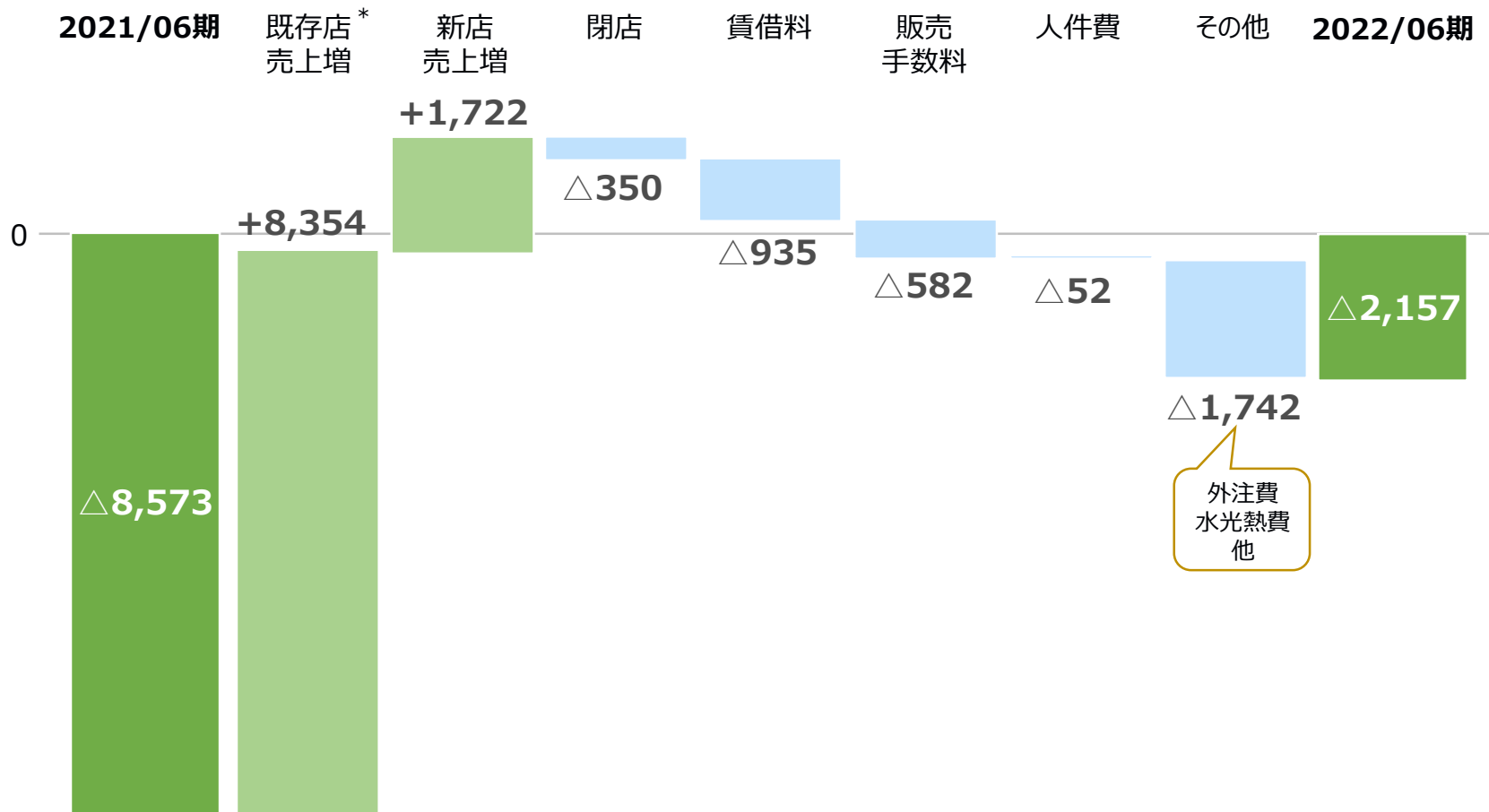
- 客室稼働率は、新型コロナウイルス感染症拡大前の水準に回復
- 客室単価も上昇基調を維持



営業利益 増減分析

(単位：百万円)

増減額合計 +6,415	
増加額合計 +10,076	減少額合計 △3,661

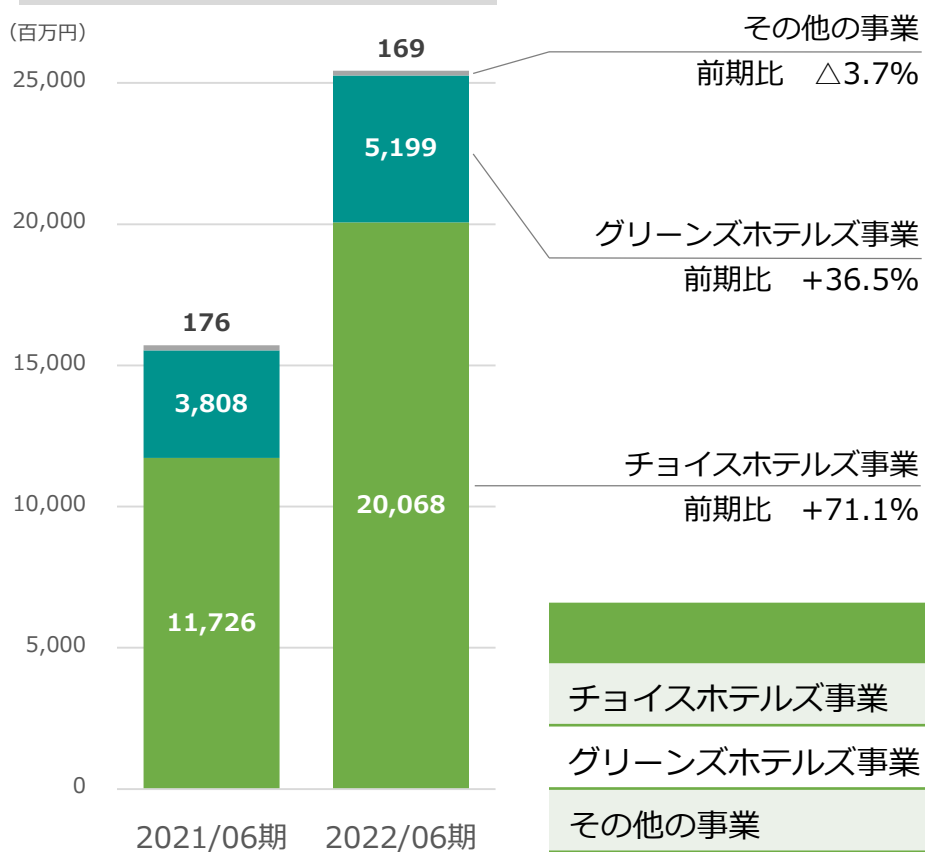


*2021年7月1日時点で営業を開始していたホテル

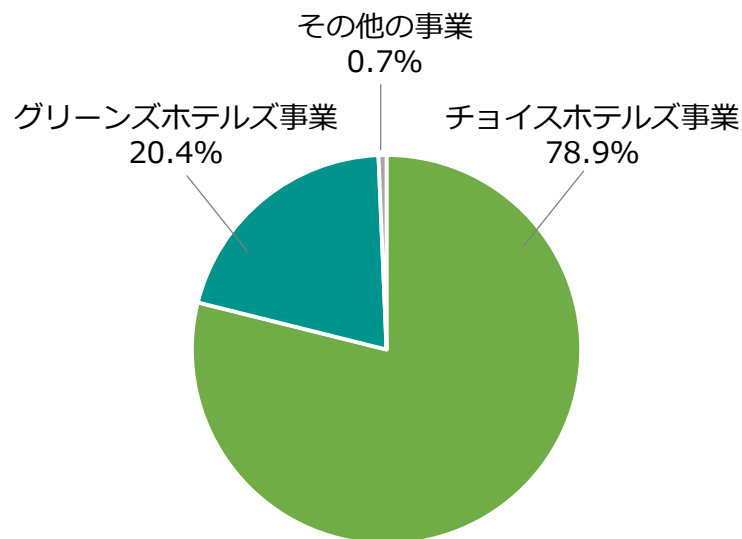
事業別の状況

- チョイスホテルズ事業 ⇒ 国内レジャー需要の取り込み、需要動向に合わせたレベルニューマネジメント強化
- グリーنزホテルズ事業 ⇒ 各店舗地域の顧客動向、需要の状況に合わせた販促強化

事業別売上高



事業別売上高構成比



	2018/06期	2019/06期	2020/06期	2021/06期	2022/06期
チョイスホテルズ事業	19,707	23,296	17,236	11,726	20,068
グリーنزホテルズ事業	7,254	7,410	5,487	3,808	5,199
その他の事業	181	189	185	176	169

2022年6月期の出店・閉店実績

- 出店計画に基づき、今後の需要増が見込める地域へ新築物件を開業
- 国内外の観光客に人気の高い飛騨高山に新しいコンセプトの回遊拠点型ホテル「hotel around TAKAYAMA」を開業

出店実績

2022/06期

1Q

2Q

3Q

4Q

オペレーター
チェンジ

コンフォートイン
那覇泊港
2021年7月開業



hotel around TAKAYAMA

2021/7/30 開業
岐阜県高山市
客室数：152室
運営形態：リース



コンフォートホテル名古屋金山

2021/10/14 開業
名古屋市熱田区
客室数：207室
運営形態：リース



コンフォートホテル高松

2022/3/23 開業
香川県高松市
客室数：163室
運営形態：リース

<閉店実績>

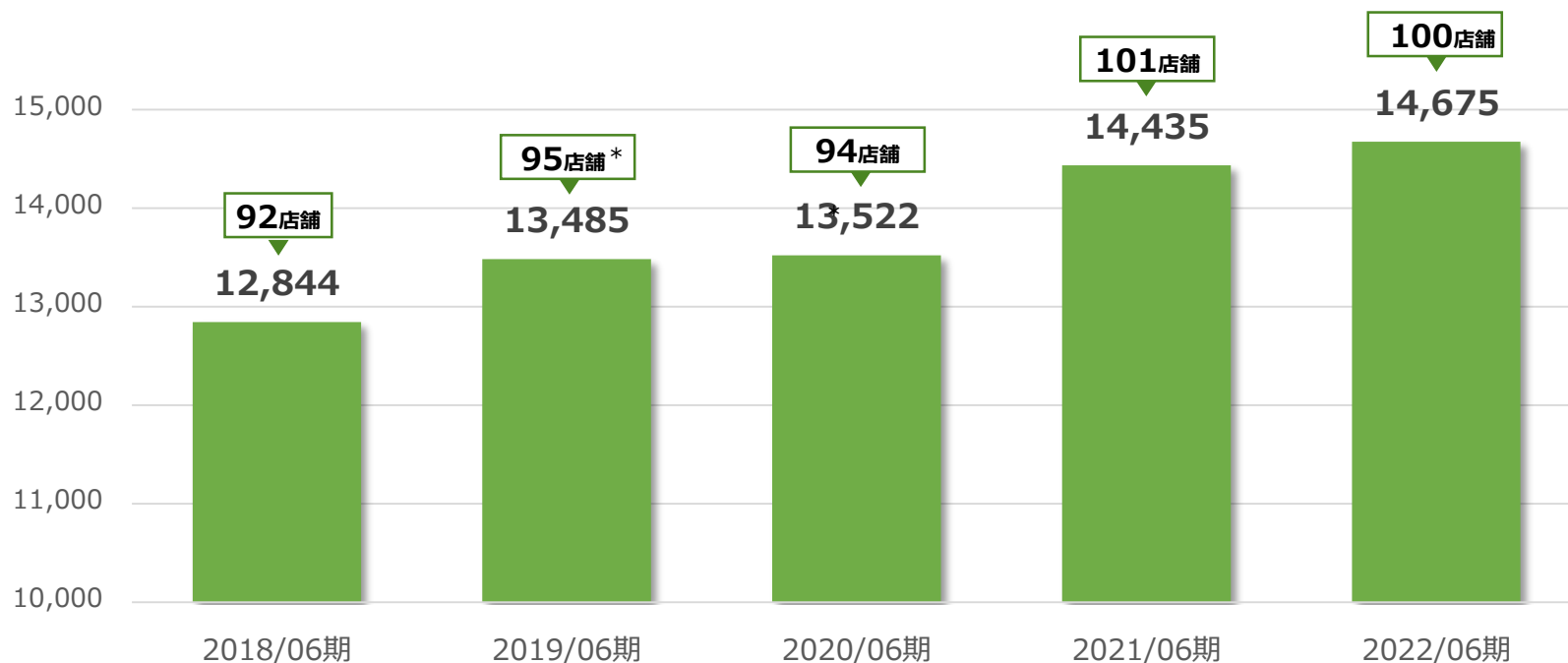
- ①ホテルエコノ金沢片町
2021/8/23閉店
石川県金沢市
客室数：90室
- ②ホテルエコノ金沢アスパ
2021/8/23閉店
石川県金沢市
客室数：67室
- ③一宮シティホテル
2021/10/24閉店
愛知県一宮市
客室数：84室
- ④小牧シティホテル
2021/10/24閉店
愛知県小牧市
客室数：80室
- ⑤ホテルエコノ小松
2021/11/23閉店
石川県小松市
客室数：78室

客室数と店舗数の推移

- 小型店舗の閉店、中規模店舗の新規出店により、店舗数は減少するも客室数は増加

期末客室数（全社）

（室）



	2018/06期	2019/06期	2020/06期	2021/06期	2022/06期
チョイスホテルズ事業	9,550	10,185	10,133	11,018	11,505
グリーンズホテルズ事業	3,294	3,300*	3,389	3,417	3,170

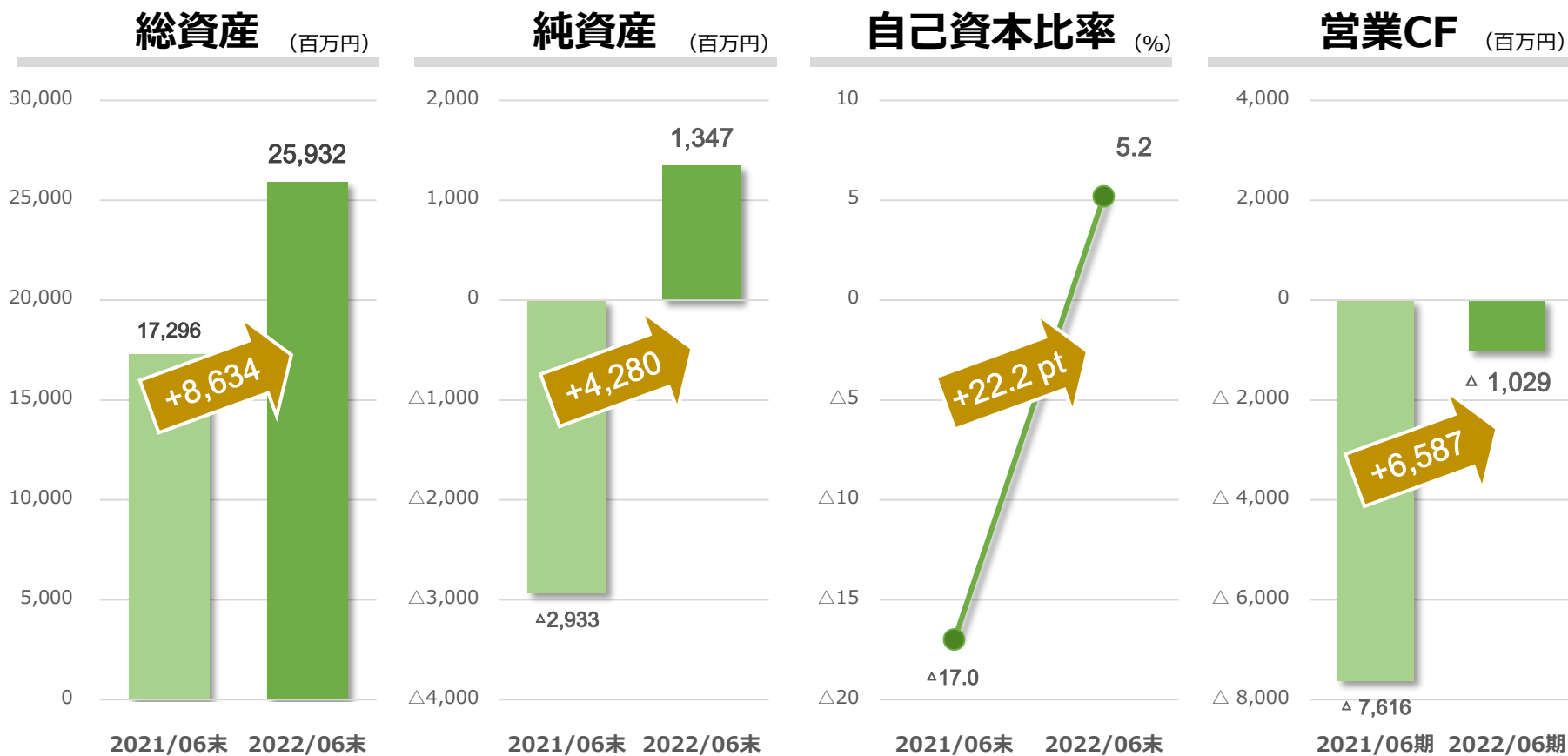
*2019年8月13日の取締役会にて閉店を決議した「ホテルエコノ名古屋栄」（2019年4月中旬より休業中）を除く。よって決算短信に記載の数値とは異なる

2022年6月期における取り組み

- **一部ホテルの一棟貸し（新型コロナウイルス感染症の軽症者療養施設）**
→ 新型コロナウイルス感染症の軽症者宿泊療養施設としてホテル一棟貸しを実施（2022年6月末時点で11都道府県に対し実施）
- **「ふっこう割」「地域割」など地方自治体の助成制度に対応**
→ ホテル出店地域の地域振興策、助成制度に合わせた宿泊プランを提供、「近場」レジャー需要等を獲得
- **各店舗におけるレベニューマネジメント強化**
→ 客室単価回復に向け、各店舗の状況に応じたレベニューマネジメントを強化し、需要環境に合わせ価格帯を底上げ
- **構造改革による事業運営体制の効率化**
→ 店舗運営体制の効率化、賃貸借契約スキームの見直しや各店舗の採算管理強化により年間目標額の7割強を達成（約10億円）
- **助成金を利用したDX化推進**
→ コロナ禍に新設された非接触型サービスに対する助成制度を利用し、生産性向上に向けセルフチェックイン・アウト機の既存店導入を前倒し

財務関連指標

- 第三者割当による優先株式発行により総額65億円を調達
- 営業キャッシュフローは、利益の大幅な回復等が寄与し大幅に改善



2023年6月期 通期連結業績予想

- 業容拡大効果、コロナ禍影響の逡減により過去最高売上高を目指す
- 利益面では、インバウンド回復の遅れによる大都市圏の単価上昇の遅れを見込む

(百万円)

	2022/06 実績	2023/06 予想	増減率	増減額
売上高	25,437	33,000	+29.7%	+7,563
営業利益	△2,157	1,500	-	+3,657
経常利益	△2,021	1,200	-	+3,221
親会社株主に帰属する当期純利益	△2,178	900	-	+3,078
1株当たり当期純利益 (円)	△169.20	69.89	-	+239.09
1株当たり配当金 (円)	0.00	6.00	-	+6.00

中期経営計画

「GREENS JOURNEY 2025」

2-(1) 長期ビジョンと本計画の位置づけ

グリーンズグループは、 価値共創の旅を続けます。

当社グループは、2018年の新経営体制への移行を契機に、2030年の未来を見据え、新たなグリーンズグループの価値創出に向けて踏み出しました。すべてのステークホルダーとともに、社会に新しい価値を生み出し、分かち合い、発展・成長していくことを目指しています。コロナ禍で業績は大きな影響を受けましたが、2019年に打ち出した以下の2つの大きな指針は継続して掲げ、引き続き取り組んでいきます。

経営ビジョン

TRY! NEXT JOURNEY

～ 新たな旅に踏み出そう ～

グリーンズ グループ2030年 CSR宣言

「環境にも人にも優しいホスピタリティあふれる企業」を目指します



TRY! NEXT JOURNEY

新たな旅に踏み出そう

もっと、 自由な旅へ

高い利便性とコストパフォーマンスをお約束するホテル事業をベースに、世界中のすべての人へ安らぎのある「自由な旅」を提供します。

もっと、 人と環境のそばへ

お客様はもちろん、働く人たちも含めたステークホルダーの皆様の人生も輝くホテル経営を。人と環境に優しいホスピタリティあふれる企業を目指します。

もっと、 ワクワクする未来へ

お客様のニーズを一步先取り。ワクワクするような感動のあるサービスを提供します。また、新たな仕組みを積極導入し、働く人たちが楽しみながら成長できる環境を創ります。

グリーングループ2030年CSR宣言

2030年SDGs達成に向けて、グリーングループ2030年CSR宣言
 「『環境にも人にも優しいホスピタリティあふれる企業』を目指します」
 を策定

当社が取り組む4つの重点課題と対応するSDGs目標

環境配慮	①エネルギーと資源利用の最適化 ②環境や社会に配慮した調達								
コミュニティ支援	コラボレーションによる地域貢献								
人づくり	多様な人材の活躍と 平等な機会の提供								
特長あるサービス	健康で実りある、人を元気にする サービスの提供								

2030年
CSR宣言の実現

中期目標の計画・KPIの設定

計画・KPIの達成度評価

KPIの再設定・
新たな課題の抽出

4つの重点課題への取り組み

重点課題の深堀、
新たな課題への取り組み

2020/06期～

～2025/06期

～2030/06期

グリーングループ2030年CSR宣言

コロナ影響下においても、着実に取り組みを継続

環境配慮	コミュニティ支援	人づくり	特長あるサービス
▼2030年コミットメント 『グローバルスタンダード』な環境企業を目指す	コラボレーションを通じて、店舗展開地域と当社事業の活性化を図る	多様な人材が活躍できる環境が整備され、観光分野における2030年労働問題を克服する	健康で美りある、心も身体も元気になるサービスを提供することで、QOLの維持向上に貢献する企業
▼2030年に目指す状態 ・CO2排出量の削減 ・世界基準の取り組みを実施	・地域活性化、地域ごとの魅力発信 ・「食」の分野における当社事業・地元企業の活性化 ・安心安全な街	・ホテル業界を担う人材の育成 ・健康経営、および女性が働きやすい職場 ・100歳まで働ける労働環境の整備	・「運動」「睡眠」「食事」の分野で、お客様を元気に
▼課題への取り組み実績など ● CO2フリー電力の導入 ● アメニティの素材変更、提供方法の変更（使い捨てプラスチック製品の使用量削減の取り組み） 	● 「地産地消」メニュー導入 ● 出店地域における、災害時の福祉避難所協定等の締結 	● 地域の中学生・高校生を対象とした職場体験実習 	● 「ビジネスホテル体操」導入 

本経営計画の位置づけと価値共創のステップ

経営ビジョン・CSR宣言の実現に向け新たなステージへ
大きな事業成長を目指す新中期経営計画を策定

中期経営計画を推し進め、成長戦略とCSR/ESG経営により
すべてのステークホルダーとの価値共創を実現へ

新たなグリーンズグループ価値創出に向けた**成長戦略**の推進

社会への新たな価値創出に向けた**CSR/ESG経営**の推進

コロナ禍からの回復

現在

中期経営計画
「GREENS JOURNEY 2025」

2025年6月期目標

売上高：372億円
総客室：15,000室

目標

経営ビジョン

2030年CSR宣言

||

新たなグリーンズ
グループの創出
+
社会への
新たな価値の創出

中期経営計画

「GREENS JOURNEY 2025」

2-(2) 中期経営計画の基本方針

当社を取り巻く事業環境

当初想定の変化は、コロナ禍の影響で大きく加速したものもある



アフターコロナ期のホテル需要の想定

インバウンド需要増に牽引され、全体として増加を見込む

宿泊者分類		需要動向			全体トレンド	
		〈コロナ前〉	〈コロナ渦中〉	〈コロナ後〉		
宿泊	国内	作業系 ^{*1}				経済回復に伴い、実地での活動再開により安定的な需要を見込む。
		事務系 ^{*2}				オンラインコミュニケーションの普及により減少する出張需要もあるが、逆にオンラインでのつながりの拡大に伴い、増える需要がある。
	海外	レジャー				人口減少の影響は受けつつも、一人当たりの旅行日数の増加が見込まれ、需要は安定的に推移する。
						アジアを中心に訪日外国人の増加を見込む。

*1：建設業、製造業、技術者など現場に行かないと仕事ができない人

*2：事務職など現場に行かなくても仕事ができる人

中期経営計画の基本方針

ライフスタイル・
働き方の多様化

少子・高齢化

DXの進展

サステナビリティに
対する意識の高まり

基本方針とキーワード

「レジリエントな企業として新しいステージへ」

Resilience

レジリエンス

変化に対応できる
柔軟な企業へ

+

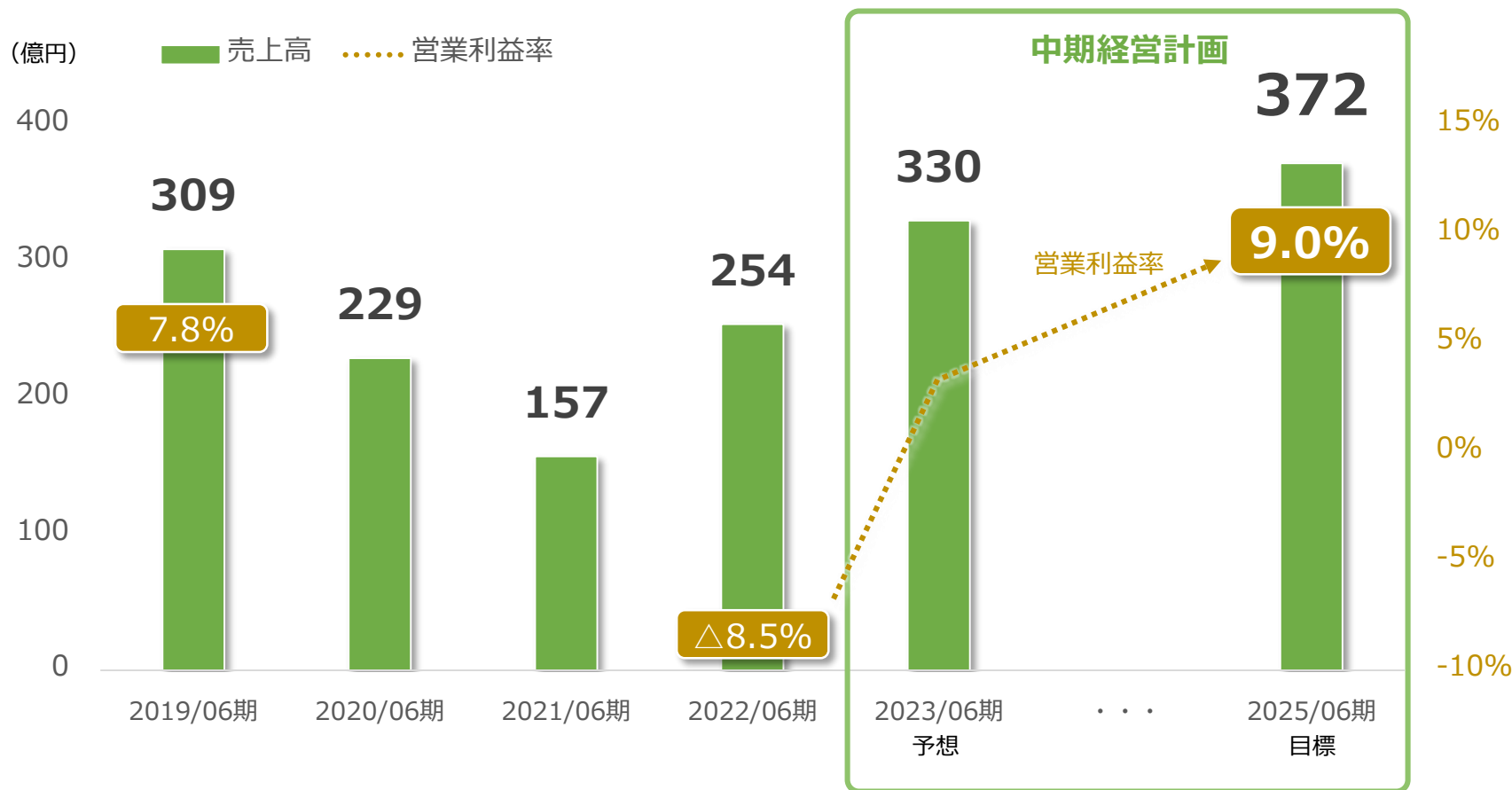
新たな挑戦

変化を見据えた
新しい挑戦を

Challenge

成長イメージ

客室単価の上昇を主要因として、2025年6月期の営業利益率は、
コロナ禍前の2019年6月期を超える9.0%に上昇



経営指標（業績目標等）

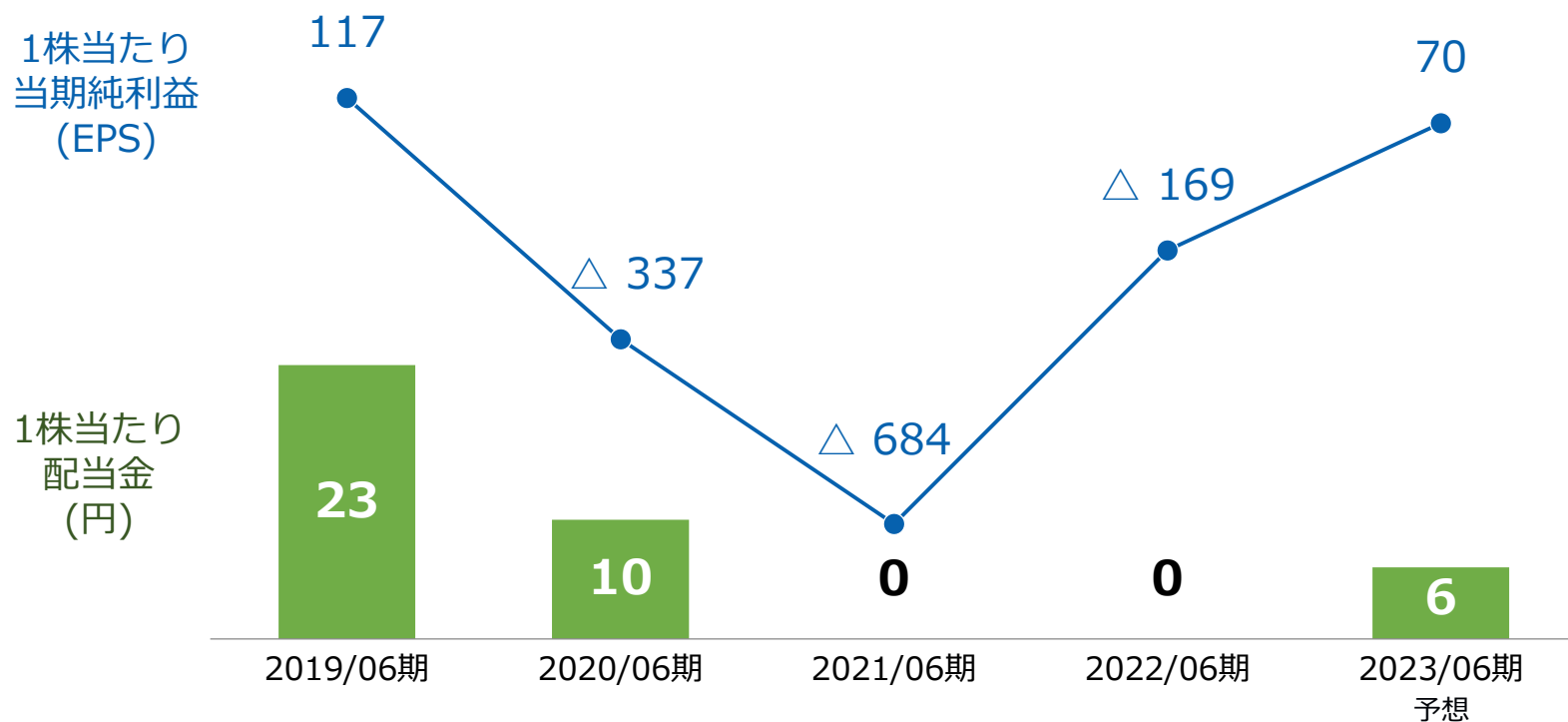
2025年6月期には過去最高の売上高 372億円を目標とし、同時に財務基盤の強化を図る

	(参考) 2022/06期 実績	2025/06期 目標
売上高	254.3 億円	372 億円
営業利益	△21.5 億円	33 億円
営業利益率	△8.5 %	9.0 %
経常利益	△20.2 億円	31 億円
親会社株主に帰属する 当期純利益	△21.7 億円	30 億円
自己資本比率	5.2 %	40 %程度
D/Eレシオ	15.2 倍	1 倍程度

株主還元

配当については、2023年6月期に復配を実現し、以降安定的な配当継続を基本方針とする

1株当たり当期純利益と1株当たり配当金の推移



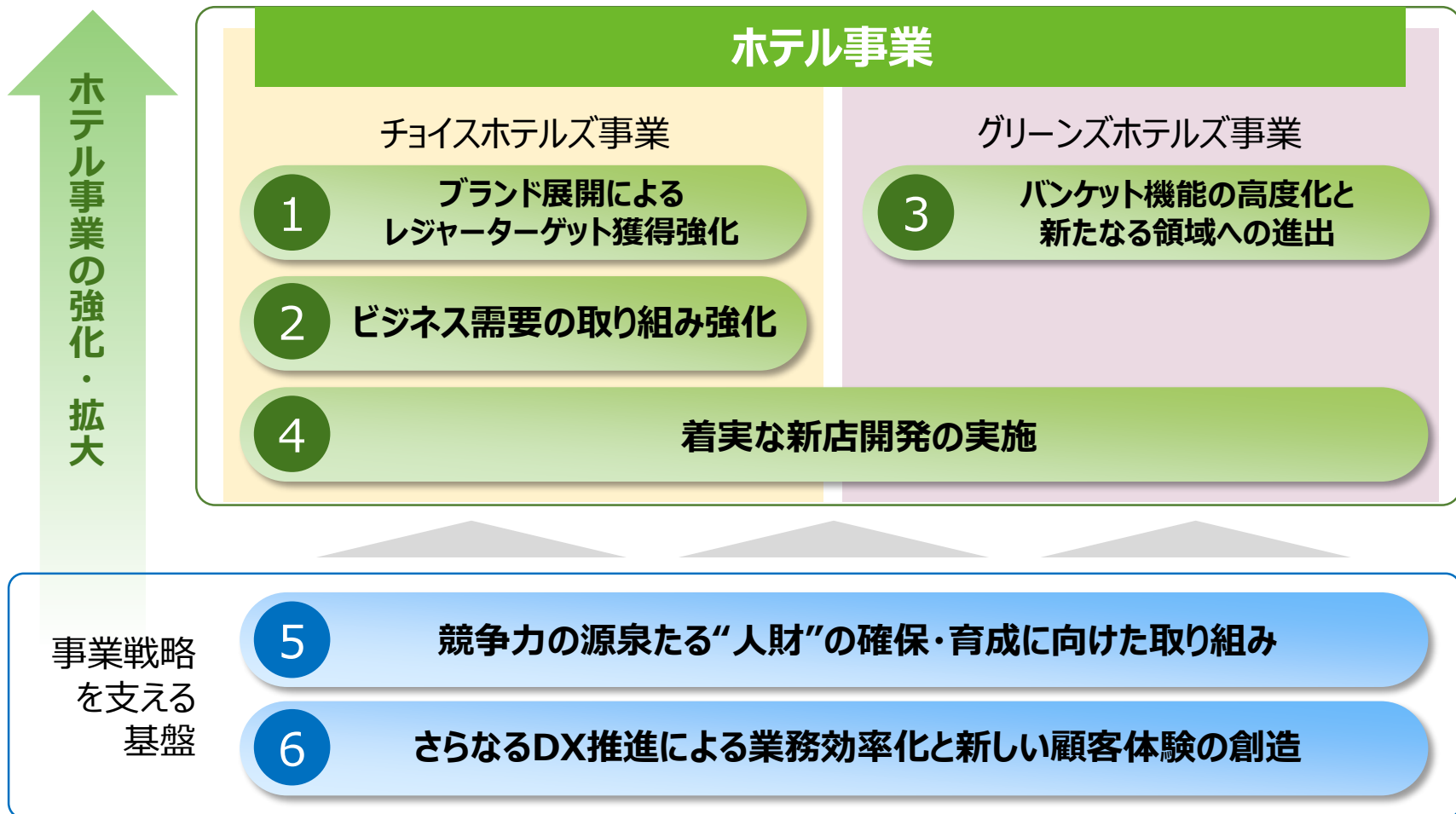
中期経営計画

「GREENS JOURNEY 2025」

2-(3) 重点戦略と具体的な取り組み

本経営計画の重点戦略

既存領域を強化しつつ、環境変化に向けて新たな領域にも挑戦



1 チョイスホテルズ事業のレジヤーターゲット獲得強化

- レジヤーターゲットに着目しコンフォートブランドの体系を再構築
コンフォートホテルの新ブランドを立ち上げ
- 新たに「ASCEND」コレクションを導入し、顧客ターゲット領域を拡大

ブランドポジショニング イメージ



2 メインターゲットの、ビジネス需要取り込み強化

事業基盤の安定化に向け、主力ビジネス利用向けホテルの更なる施策強化を推し進める

無料朝食のブラッシュアップ

地産地消メニューを含め、
四半期ごとのテーマに基づき
商品更新

レベニューマネジメントの 実施による収益力向上

本部集約型のコントロールで
業務効率化とノウハウの蓄積

主力事業としての 更なる成長を目指す



コンフォートライブラリーカフェ の更なる展開

お部屋以外での過ごし方の
選択肢を提供

公式会員制度 Choice Guest Clubの強化

会員と一緒に社会貢献を実現する
特徴的なプログラムの推進

3 グリーンスホテルズ事業のバンケットを基軸にした成長

三重県内の観光振興を中長期的な目的とし、足もとでは集宴会（バンケット）事業の強化に資源を集中投下

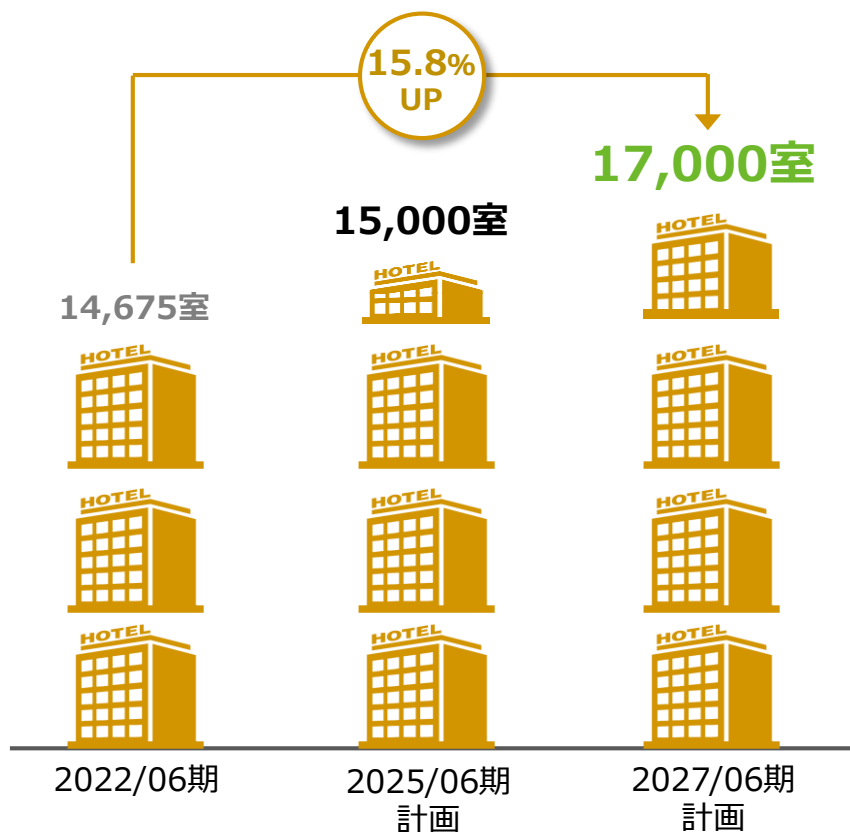


4 着実な新店開発の実施

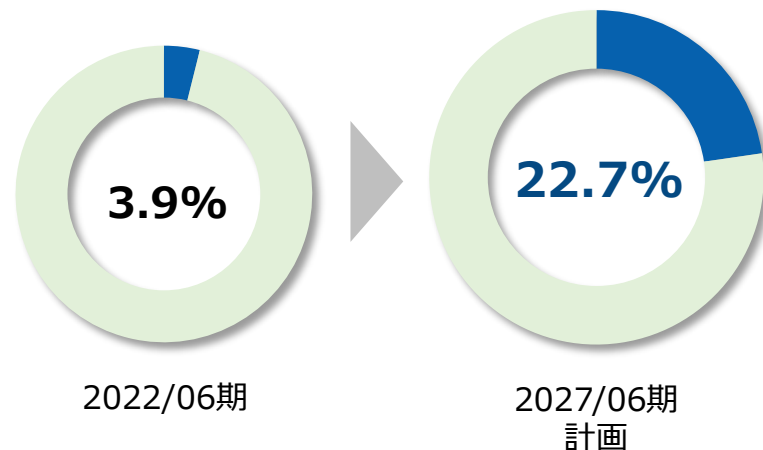
2027年6月期までの5年間で15.8%プラスとなる17,000室目標

エリア・都市規模や、
契約形態の多様化をしながら出店

レジャーがメインターゲットのブランド*の
客室数構成比を3.9%から22.7%に



レジャーメインのブランド 客室数構成比



構成比の変化には既存店のリブランドによる影響も含む

*コンフォートホテルの新ブランド、コンフォートスイーツ、アSENDコレクションなど

5 競争力の源泉たる“人財”の確保・成長に向けた投資

グリーンズで働く日々が『自由で』『一人一人が輝き』『ワクワク・成長実感のある』旅をしているような会社にする

- 人事ミッションの刷新
- 全従業員への浸透策の立案推進

人財要件の再定義

より働きがいある
職場環境の構築

- 従業員が将来を見通せる勤務管理制度
- 賃金水準の向上

- 多様な属性からの人財確保の推進
- 多様な働き方のアプローチ

採用戦略

育成戦略

- サクセッションプランの策定と推進
- 事業戦略を支える育成体系の構築

6 さらにDX推進による業務効率化と新しい顧客体験の創造

継続的なDX領域推進による競争力強化

店舗業務効率化

セルフチェックイン・アウト機

2019年より3年間で27店舗に導入
今後3年間で既存店 約30店舗へ展開予定



新しい顧客体験の創造

スマホなどと連携し快適な
ホテル利用ができる
デジタルタッチポイントを構築

〈例〉
オンラインチェックインサービス
の導入・展開/
リアルタイムでの朝食会場の
混雑状況が分かるサービス など



その他 注力領域

AI、IoT、ビッグデータ処理等
データ分析・活用推進

〈例〉
社内外のビッグデータを集約できる
インフラの構築/
需要予測や顧客分析をマーケティング
やオペレーション改善に活用

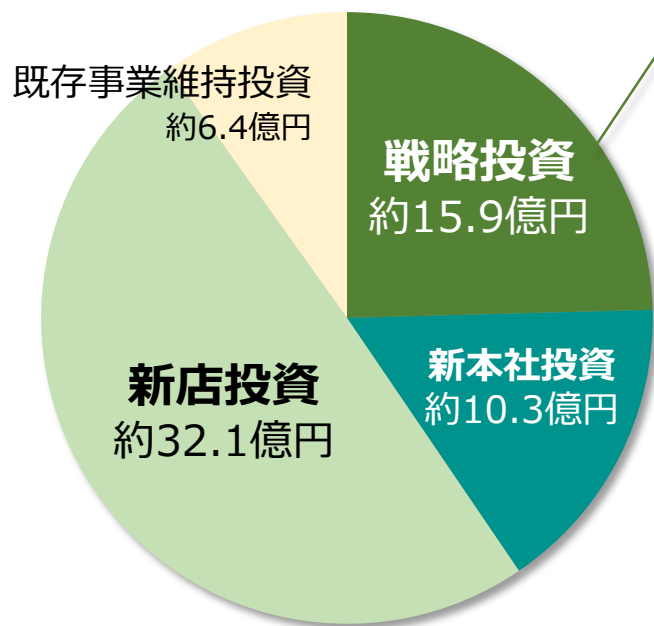


本計画期間中の主な投資・支出計画

新店投資を中心としながら、中長期的な成長基盤となる戦略投資を継続

主な投資・支出計画 2023/06期-2025/06期 合計

総投資額 64.8億円



戦略投資の主な施策

- **チョイスホテルズ事業**
レジャー強化のためのリブランド投資
ライブラリーカフェの展開拡大
- **グリーンスホテルズ事業**
バンケット機能の高度化
新業態の研究調査
- **経営基盤の更なる強化/
働き方改革・生産性向上への取り組み**
人財への投資
IT・デジタル投資

Appendix

会社概要

～ ホテルオペレーターとして60年以上の実績を有する ～

会社名

株式会社グリーنز

本社所在地

三重県四日市市鵜の森1-4-28 ユマニテクプラザ 5階

設立

1964 [昭和39]年 1月 ※創業は1957年 [昭和32年] 7月

代表者

代表取締役社長 村木 雄哉

資本金

100百万円 (2022年6月末)

従業員数

連結:2,035名 <正社員 671名、パートナー社員 1,364名> (2022年6月末)

事業内容

ホテル・レストランの経営、その他付帯する業務

事業スキーム

他社との
差別化

2つの異なるスタイルのホテル事業を有し、双方の特性を融合することで幅広い事業展開を実現



Choice Hotels International
(チョイスホテルズインターナショナル)

マスターフランチャイズ契約



チョイスホテルズジャパン

フランチャイズ契約

チョイスホテルズ事業



40カ国以上7,000軒以上の
ホテルチェーンのグローバルなブランドカ
世界基準のホテル運営ノウハウ



グリーンスホテルズ事業

GREENS HOTELS

シナジー

60年以上
にわたるホテル運営の実績と信頼
ドミナント戦略
により合理化されたコスト構造

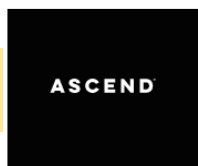
Choice Hotels International (チョイスホテルズインターナショナル)

40カ国以上 7,000軒以上の規模を誇るホテルフランチャイズチェーン

<ブランド一覧>



UPSCALE
アップスケール



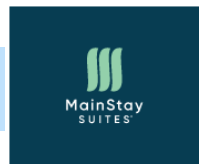
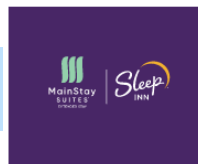
UPPER MIDSCALE
アッパー・ミッドスケール



MIDSCALE
ミッドスケール



EXTENDED STAY
エクステンデッド・ステイ



ECONOMY
エコノミー



- 本社は米国メリーランド州
- 1938年創業、世界40カ国以上で7,000軒以上のホテルを展開
- ニューヨーク証券取引所とNASDAQに上場

成長のあゆみ①

～ 創造と挑戦を続ける企業文化で、業界内で独自ポジションを構築 ～

1987年

株式会社グリーンズに
社名変更

1975年

現在の新四日市ホテル*
を開業・多店舗構想

1957年

新四日市ホテル創業



創業・多店舗化

2015年

株式会社ベストを
子会社化

2003年

チョイスホテルズ
インターナショナルと
マスターフランチャイズ
契約を締結

1999年

コンフォートイン
1号店開業
(コンフォートブランドの1号店)



全国展開

2018年

東証一部・名証一部昇格
新経営体制への移行



2017年

創業60周年
東証二部・名証二部上場



株式上場

2018年

チョイスホテルズ事業

新カテゴリーブランドの投入
(コンフォートスイーツ東京ベイ)
⇒ 顧客層の多様化に向けた対応

新ブランドコンセプト

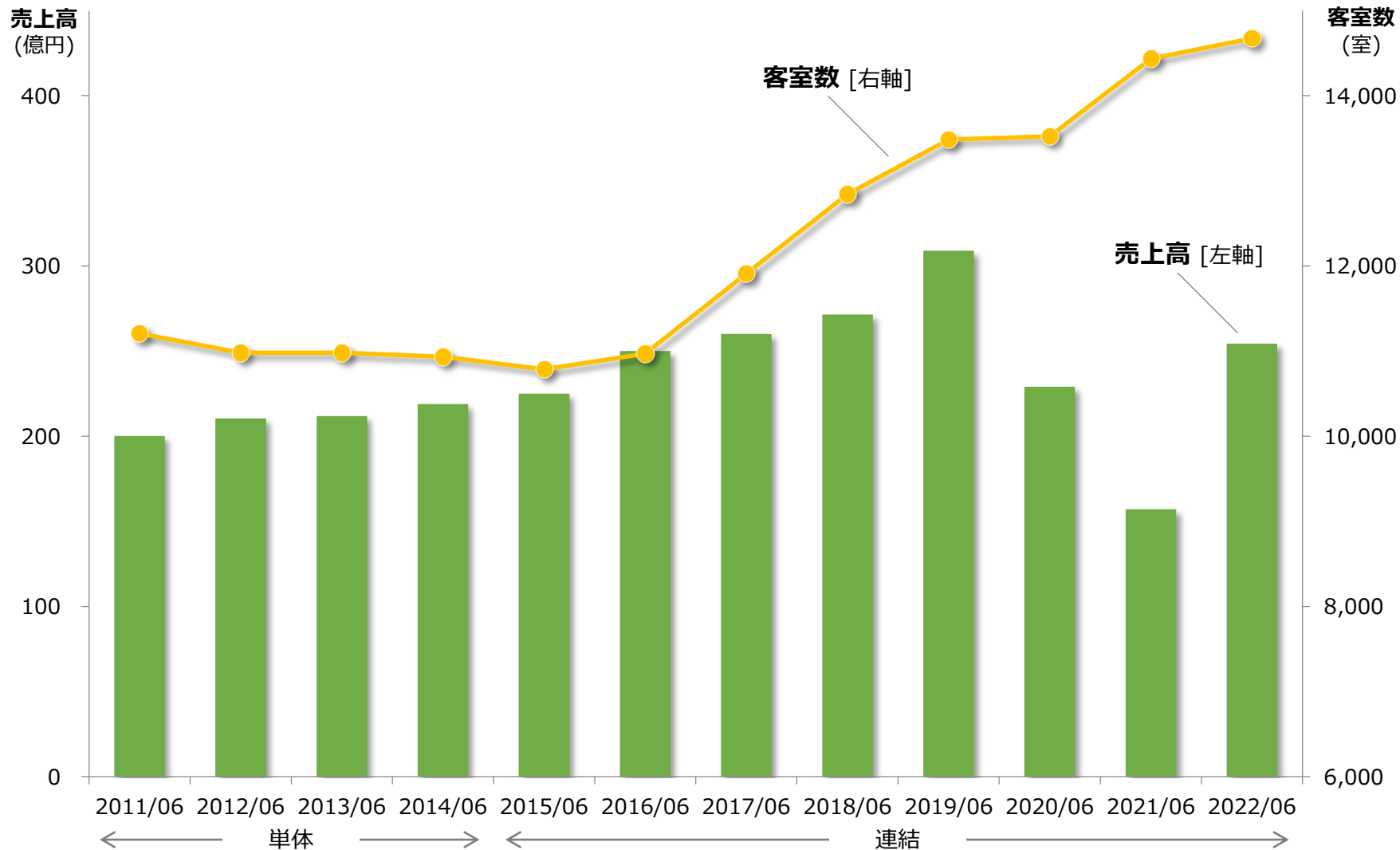
「Color your Journey. 旅に、実りを。」
の発表



新たな挑戦へ

*新四日市ホテルは2019年12月27日をもって閉店

成長のあゆみ②



グリーンズグループは、 価値共創の旅を続けます。

当社グループは、2018年の新経営体制への移行を契機に、2030年の未来を見据え、新たなグリーンズグループの価値創出に向けて踏み出しました。すべてのステークホルダーとともに、社会に新しい価値を生み出し、分かち合い、発展・成長していくことを目指しています。コロナ禍で業績は大きな影響を受けましたが、2019年に打ち出した以下の2つの大きな指針は継続して掲げ、引き続き取り組んでいきます。

経営ビジョン

TRY! NEXT JOURNEY

～ 新たな旅に踏み出そう ～

グリーンズ グループ2030年 CSR宣言

「環境にも人にも優しいホスピタリティあふれる企業」を目指します



TRY! NEXT JOURNEY

新たな旅に踏み出そう

もっと、 自由な旅へ

高い利便性とコストパフォーマンスをお約束するホテル事業をベースに、世界中のすべての人へ安らぎのある「自由な旅」を提供します。

もっと、 人と環境のそばへ

お客様はもちろん、働く人たちも含めたステークホルダーの皆様の人生も輝くホテル経営を。人と環境に優しいホスピタリティあふれる企業を目指します。

もっと、 ワクワクする未来へ

お客様のニーズを一步先取り。ワクワクするような感動のあるサービスを提供します。また、新たな仕組みを積極導入し、働く人たちが楽しみながら成長できる環境を創ります。

免責事項

本資料は、当社の業績および今後の経営戦略に関する情報提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券ならびに当社商品への募集・勧誘・営業等を目的としたものではありません。

また、注記を行っている場合を除き、2022年8月12日現在のデータに基づいて作成しております。

なお、当資料に掲載された計画・見通し等は、作成時点での当社が把握し入手可能な情報からの判断および想定に基づくものであり、経営環境の変動等により今後変更される可能性があり、実際の業績等は大きく異なる場合がありますことを予めご了承ください。

■お問い合わせ先

株式会社グリーンズ 総務部

電話：059-351-5593

E-mail：greens-info@greens.co.jp